

# ウィーン国立バレエ団

## バレエ「こうもり」

パリ・オペラ座に輝かしい足跡を残した大エトワール  
マニユエル・ルグリ率いる  
注目のバレエ団!

ダンスの魔術師 ローラン・プティの  
とびきりお洒落なバレエ版「こうもり」

# Ballet Die Fledermaus



「芸術監督」マニユエル・ルグリ(ウリッソフ後)



[振付] ローラン・プティ  
[音楽] ヨハン・シュトラウスⅡ世  
[編曲] タグラス・ガムレイ  
[舞台美術] ジャン=ミッシェル・ウィルモット  
[衣裳] ルイザ・スピナテッリ [照明] ジャン=ミッシェル・デジレ  
[演奏] 日本センチュリー交響楽団



ベラ役: マリア・ヤコヴレワ  
ウィーン国立バレエ団プリンシパル  
ヨハン役: ロマン・ラジク  
ウィーン国立バレエ団プリンシパル

2012 5/3 (木・祝) 3:00PM開演 (2:15PM開場) (終演時間5:00PM予定/休憩含む) 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール  
A 12,000円 B 9,000円 C 7,000円 D 5,000円 E 3,000円(税込/全席指定) 〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札ロスグ/ JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

ご予約・お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 (10:00AM-5:00PM 月曜休み ※祝日の場合翌日) ※プレイガイドでのお取り扱いについては各プレイガイドにお問い合わせください。

一般発売	電話予約	インターネット予約
12/11	<ul style="list-style-type: none"> <li>●芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255</li> <li>●チケットぴあ 0570-02-9999【Pコード 415-679】</li> <li>●ローソンチケット 0570-000-407【オペレーター対応】、0570-084-005【Lコード 59395】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●芸術文化センター <a href="http://www.gcenter-hyogo.jp">http://www.gcenter-hyogo.jp</a></li> <li>●イープラス <a href="http://eplus.jp">http://eplus.jp</a></li> <li>●チケットぴあ <a href="http://pia.jp/t/">http://pia.jp/t/</a></li> <li>●ローソンチケット <a href="http://l-tike.com">http://l-tike.com</a></li> </ul>
直接購入 芸術文化センター2階総合カウンター【12月13日(火)より、残席がある場合のみ】、ローソン、サンクス、セブンイレブン、ファミリーマート、サークルK		

※未就学児童のご入場はご遠慮ください。※やむを得ない事情により、出演者等が変更となる場合があります。最終的な配役は公演当日に発表いたします。※開演時間に遅れますと長時間お立ちになるか、入場を制限させていただく場合がございます。時間に余裕を持ってお越しください。※許可のない写真撮影、録画、録音は固くお断りいたします。主催/兵庫県、兵庫県立芸術文化センター



# パリからウィーンへ羽ばたいた、マニエル・ルグリが登場！ ローラン・プティによるとびきりお洒落なバレエ版「こうもり」

昨夏プロデュースオペラ「こうもり」をごらんになったお客様、バレエ版「こうもり」はいかがですか？「現代最高のダンス・ルノーブル」と称され、2010年にパリ・オペラ座バレエ団から新天地ウィーンへ羽ばたいた希代のスター、マニエル・ルグリが、芸術監督を務めるウィーン国立バレエ団を率いて来日！名匠ローラン・プティがウィーン・オペレッタの最高傑作をもとに創りあげた、バレエ版「こうもり」をお届けします。

「こうもり」といえばウィーンの舞踏会シーンが有名ですが、バレエ版の舞台は、パリのマキシム。洗練された紳士淑女に、小粋なウェ이터、心踊るフレンチ・カンカン…。シュトラウスの華麗な音楽はそのままに、パリのエスプリをたっぷりと振りかけられた軽妙洒落な恋物語。生粋のパリジャン、プティならではの、粋とエレガンスにあふれたステージが繰り広げられます。

円熟の境地に達したルグリが演じるのは、物語のカギを握るチャップリン風のキャラクター、ウルリック。卓越した技巧とコミカルな演技力が必要とされる難しい役柄です。貞淑な妻から謎の美女に変身するベラ、浮気な亭主のヨハン。ルグリがウィーンで見出した、次世代のスターたちも必見です！

ルグリとウィーンの仲間が贈る、夢のバレエ。輝けるスターたちが、極上のひとときをお贈りします。



©Wiener Staatsballett / Axel Zeisinger

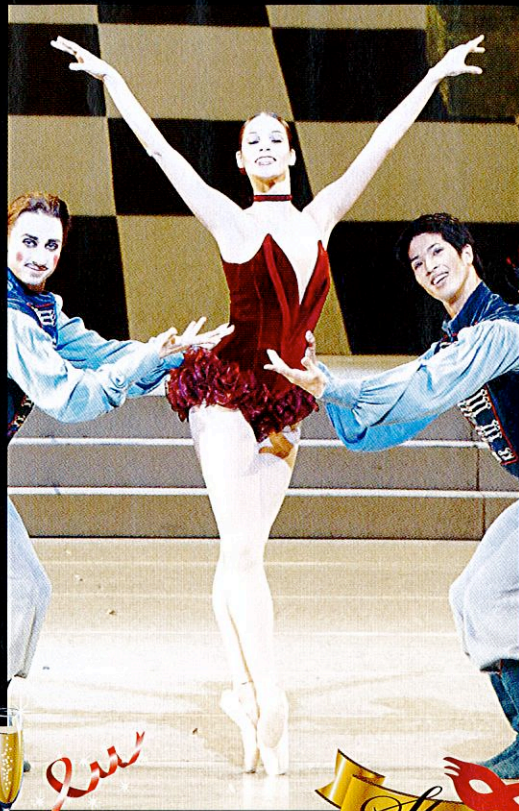
*Profile*

## マニエル・ルグリ Manuel Legris

世界トップの実力とカリスマを持つダンサー。16歳でパリ・オペラ座バレエ団に入団。1986年にエトワールに任命される。以来20年以上にわたり、バレエの殿堂として世界の頂点に君臨するパリ・オペラ座バレエ団の大エトワールとして活躍し、2009年に定年のため惜しまれつつもバレエ団を引退。2010年にウィーン国立バレエ団の芸術監督に就任。新シーズンでは古典からコンテンポラリーまで数々の作品を上演し、バレエ団の評価は格段に向上。世界中のバレエ・ファンから注目を集めている。



©David Etofer



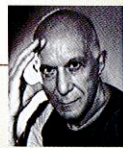
©Wiener Staatsballett / Michael Pöhn



人妻ベラは、愛する夫ヨハンが夜な夜な「こうもり」に変装しては、仮面舞踏会に遊びに出かけるのが悩みの種。ある夜、友人ウルリックのアドバイスを受けたベラは、謎の美女に変装し、夫のいる仮面舞踏会に繰り出します。魅惑の美女ベラが現れると、その正体に気づかないヨハンは、周りの男性たちと競い合い猛アプローチを開始！ひと騒動が巻き起こります。はたして夫婦の愛の行方は……？

## ローラン・プティ (1924-2011)

「ダンスの魔術師」と呼ばれた20世紀を代表するフランスの舞踊家、振付家。

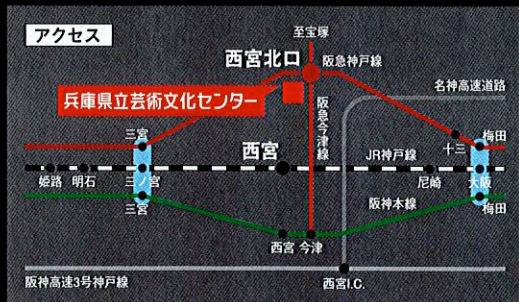


## ウィーン国立バレエ団 The Wiener Staatsballett

2010年9月1日、ウィーン国立バレエ団が新たに誕生した。元々あったウィーン国立歌劇場バレエから名称が変わり、ウィーン国立歌劇場とウィーン・フォルクスオーパーの2つの劇場で踊るダンサーたちを率いての新たな船出となった。この新生バレエ団の芸術監督に就任したのが、マニエル・ルグリ。パリ・オペラ座バレエ団の大エトワールとしてバレエ団の中の頂点を極め、惜しまれつつも引退したカリスマダンサーが、華麗なる転身先に選んだのがこのポストであった。世界超一流の歌劇場の一つとして知られ、オペラとオーケストラの世界で頂点を極めるウィーン国立歌劇場に、新たに輝かしい歴史を刻むこととなったこの発表に、世界中が驚き、そしてウィーンの市民からは熱狂的な祝福を持って迎えられた。このバレエ団はルグリによって率いられ、彼の周りを固めるソリストには世界中から実力者が集まり、バレエ団を牽引している。日本人ダンサーも数多く在籍するほか、ロシア出身のダンサーが中心となり、古典からコンテンポラリーまで、幅広いルグリの展開に応えるだけの能力あるダンサーが集まり、国立歌劇場とフォルクスオーパーの両劇場で年間80公演以上をこなす。新シーズンをスタートしてからは、元々その指導力とバレエ作品への深い洞察力、そして作品構成のセンスに高い評価のあるルグリの本領を見事に発揮して、バレエ団の評価は格段に向上した。新シーズンの幕開けは、ルグリがパリ・オペラ座で自身の引退公演となった「オネーギン」(ジョン・クランコ振付)、「ドン・キホーテ」(ルドルフ・スレエフ版)などを上演し、高い評価を得る。また意欲的な新作や振付家に焦点を当てた企画も数々上演。「マリー・アントワネット」(ノットリック・ド・バナ振付)を初演したほか、今後は「ラ・シルフィード」(ピエール・ラコット版)、「眠れる森の美女」(ピーター・ライト版)等が予定されるなど、話題性と注目度は近年まれにみるほどである。2012年には新生バレエ団として初の来日公演も予定されており、日本のバレエ・ファンのみならず世界中のバレエ・ファンが注目するバレエ団として、今後のバレエ地図を大きく塗り替える活躍が期待されている。



©Wiener Staatsoper / Axel Zeisinger



◎阪急 西宮北口駅 南改札口 直結(連絡デッキで直結)  
◎JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)  
※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。